

完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付: 2024年7月26日

事業ID: 2023S02179

事業名: 広島県尾道市の「子ども
第三の居場所」(A) 常設ケアモデル
における子どもへの体験機会の
提供(2023)

団体名: 社会福祉法人尾道市社会
福祉協議会
代表者名: 会長 加納 彰 印
TEL: 0848-21-3032
事業完了日: 2024年6月30日



■ 契約時

事業費総額	:	1,300,000 円
自己負担額	:	0 円
支援金額	:	1,300,000 円

■ 事業完了時

事業費総額	:	1,300,000 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	0 円	収支計算書の緑のセルの値
支援金額	:	1,300,000 円	収支計算書の赤のセルの値
支援金返還見込額	:	0 円	(収支計算書の青のセルの値)

■ 箇所は(様式3)収支計算書より自動転記

1. 事業内容

支援契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、支援契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。
なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

■ 事業内容1

(1) 支援契約書記載の事業内容(予定)

1、夏の離島宿泊体験の実施(1)期間: 2023年8月23日実施予定(2)場所: 鳥根県隠岐郡隠岐の島(3)子ども16名、大人2名(4)内容: こんなに遠い場所への営みがあり、固有の自然や文化があることを体感することで多様性について学びを深め、親元と離れた宿泊体験を行うことによりたくまさを培う。コースは鳥根県美保関町、隠岐の島(ローソク島遊覧等)、知夫村(赤壁見学等)を想定
2、卒業、修了記念宿泊体験旅行の実施(1)期間: 2024年3月26日実施予定(2)場所: 東京都内(3)対象: 子ども20名、大人2名(4)内容: 国立博物館等で民間を広めるほか、国会議事堂等も訪れ、ビル街や群衆の中を歩く中で、世の中の動きがこの地から胎



(2) 事業完了時の事業内容(実績)

1、夏の日帰りバス旅行の実施(1)期間: 2023年8月28日(2)場所: 鳥根県松江市(3)子ども15名、大人2名(4)内容: 前年にフーケショップで講師をしていただいた松江市在住のミュージシャンをバスガイドに、国宝松江城等を訪れ、山陰地方の歴史や文化を学んだ
2、広島空港制限区域ツアーの実施(1)期間: 2023年11月25日(2)場所: 広島県三原市(3)子ども15名、大人2名(4)内容: 地元企業の厚意で、通常は立ち入ることのできない滑走路を見学するツアーに招待いただいた。目的地までのバス賃料を支援金で充当させていただいた。3、卒業・修了記念宿泊体験旅行の実施(1)期間: 2024年3月26日~3月28日(2)場所: 山口県内(3)子ども16名、大人2

動している事をリアルに体感する。

名(4)内容:明治維新の震源地となった長州藩の明倫学舎等を訪れ、近代日本がこの地から胎動したことを学び、子どもたちで絆を深めた。 4、新年度絆を深めるバスツアー(1)期間:2024年6月23日(日)
(2)広島県庄原市(3)子ども13名、大人2名(4)内容:新年度を迎え1年生をはじめとする新規利用児童と互いを深く知るため、同市内の博物館や公園を訪れた。
※内容変更については適宜貴財団担当者さまに申し出を行い、承諾をいただいた。

(3)成功したこととその要因

3年前に尾道市からの受託事業となり、地域の協力で体験活動を行っているが、限られた財源の中では県外へ旅行体験に行くなど大きな行事の実施が難しい。運営費の助成が終了してからも本支援金を拝領しており、そのおかげ子どもにも貴重な体験機会を提供することができている。今年度も年間を通じて、旅行へ行ったり、宿泊体験がなかったりと、公共の場での経験や見聞を広げる機会が乏しい児童がいる中で、多様な活動を提供することができた。

(4)失敗したこととその要因

上述の通り、変更が数点あり、その都度事業担当者さまのご承諾を仰いだ。(1)の夏の宿泊体験は、地域の廃校を使ったキャンプを行うことができたため、宿泊を伴う旅行は年度末の卒業・修了記念旅行に集約させることとした。上記実績欄の(2)も既述の通り、地域から機会提供の申し出があったが目的の地までの交通費が支弁できず支援金にて充当させていたという事情がある。実績欄(3)の卒業旅行は、当初の目的地東京がインバウンドの復調等により宿泊費等が高騰しており催行できず、近県に目的地を変更した。そのため、催行費用にゆとりがあったこともあり、当初予定していたなかった実績欄(4)の行事を実施することができ、結果的に新年度の仲間も活動に参加することができ、受益者が増えた。

(5)事業内容詳細

別添の報告書をご参照ください。

収支計算書

(2023年7月1日から2024年6月30日まで)

団体名：

社会福祉法人尾道市社会福祉協議会

事業名：

広島県尾道市の「子ども第三の居場所」
(A)常設ケアモデルにおける子どもへの体験機会の提供

収入の部

科目	予算額	決算額	返還金見込額
日本財団支援金収入	1,300,000	1,300,000	0
自己負担			
収入合計	1,300,000	1,300,000	0

(単位：円)

支出の部

科目	予算額	決算額	備考
給食費支出	35,116	35,116	
手数料支出	115,874	115,874	
保険料支出	9,000	9,000	
賃借料支出	606,868	606,868	
旅費交通費支出	398,192	398,192	
教養娯楽費支出	134,950	134,950	
支出合計	1,300,000	1,300,000	

